

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-95155 (P2003-95155A)
 【公開日】平成 15 年 4 月 3 日 (2003.4.3)
 【出願番号】特願 2002-211461 (P2002-211461)
 【国際特許分類第 7 版】
 B 6 2 D 55/24
 【F I】
 B 6 2 D 55/24

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 19 日 (2005.7.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 3】

内周部にあるガイドラグと、外周部にあるゴム製トレッドと、周方向に連続的に延びる肉薄バンドとを有する、弾性を有する無端の無限軌道用の型であって、

トレッドラグを形成する半径方向外側の成形部分と、前記ガイドラグを形成する半径方向内側の環状のコアとを有し、

前記コアは、分離可能にかみ合う第 1 および第 2 の部分を有し、前記第 1 および第 2 の部分のそれぞれは、環状の端部から延び互いに間隔をおいて位置する複数のスポークを有し、かみ合わされて組み立てられた前記第 1 および第 2 の部分は、前記第 2 の部分の前記スポークに隣接し前記第 2 の部分の環状の端部から間隔をおいて位置する前記第 1 の部分の前記スポークを、前記半径方向内側のコアの外周部に有し、前記第 1 の部分の環状の端部から間隔をおいて位置する前記第 2 の部分の前記スポークを、前記半径方向内側のコアの外周部に有し、前記環状の端部と前記スポークとの間に形成されている空間が、前記ガイドラグ用のキャピティを形成している、弾性を有する無端の無限軌道用の型。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 6】

この改良された型は、トレッドラグを形成する半径方向外側の成形部分と、ガイドラグを形成する半径方向内側の環状のコアを有する。半径方向内側のコアは、分離可能に噛み合う第 1 および第 2 の部分を有する。第 1 および第 2 の部分のそれぞれは、環状の端部から延び互いに間隔をおいて位置する複数のスポークを有する。半径方向内側のコアの第 1 および第 2 の部分が組み立てられて噛みあっている時に、半径方向内側のコアの外周部において、第 1 の部分のスポークは第 2 の部分のスポークと隣接し、第 1 の部分のスポークは、第 2 の部分の環状の端部から離れている。第 2 の部分のスポークも、半径方向内側のコアの外周部において第 1 の部分の環状の端部から離れている。環状の端部とスポークとの間に形成されている空間が、ガイドラグ用のキャピティを形成している。